

### 3類感染症発生情報（腸管出血性大腸菌感染症）

令和5年第23週：6月5日から6月11日まで

令和5年6月15日

感 染 症 名		腸管出血性大腸菌感染症
届出医療機関		新潟市保健所管内
診 断 方 法		菌検査による（腸管出血性大腸菌 O157：VT1(+)VT2(+))
届 出 対 象		患者
患者	年代	10歳未満
	性別	女
診 断 年 月 日		令和5年6月10日
届 出 年 月 日		令和5年6月10日
経 過 等		令和5年 ・5月31日 軟便あり ・6月4日 下痢あり ・6月6日 腹痛あり ・6月7日 医療機関受診 ・6月10日 腸管出血性大腸菌（O-157：VT1(+)VT2(+))が検出。 保健所に発生の届出あり  現在症状は回復傾向
備 考		・いずれも現時点では感染源不明。

#### ◆県内・市内の腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

	令和3年	令和4年	令和5年 ※今回発生分を含む
患者（人）	24（20）	37（14）	23（18）
無症状病原体保有者（人）	3（1）	11（4）	20（2）

※（ ）内は新潟市保健所届出分の再掲

#### < お 願 い >

報道機関各位におかれましては、感染症法の精神に基づき、感染者及び患者家族等について本人が特定されることがないように、人権に格段のご配慮をお願いいたします。

新潟市保健衛生部保健所保健管理課 感染症対策室 025-212-8123（担当：大宮・川崎）

※この件についての、問い合わせは午後5時までをお願いします。

# 腸管出血性大腸菌感染症を予防しましょう

新潟市保健所保健管理課  
新潟市保健所食の安全推進課

## 腸管出血性大腸菌感染症とは？

大腸菌のうち、ベロ毒素を産生する菌（腸管出血性大腸菌）が原因で起こります。

- 種類 : 代表的な血清型はO157、O26、O111などです。  
感染経路 : 菌に汚染された食物や便を介して感染します。  
症状 : 下痢、腹痛、水様便、血便、発熱、溶血性尿毒症症候群（HUS）などで、無症状から重篤なものまで様々ですが、HUSは、腎機能や神経学的障害などの後遺症や死亡することもある重篤な疾患です。

## 予防方法

食品を中心  
まで十分に  
加熱

腸管出血性大腸菌は75℃で1分以上の加熱で菌は死滅します。電子レンジは中心部まで加熱できないこともあるので注意が必要です。  
井戸水などの生水は避けましょう。

食材や調理  
器具の衛生  
的取り扱い

食材は十分に流水であらう。また、野菜等を生で食べるときには良く洗いましょう。  
食材毎に調理器具を分け、都度洗剤等で十分に洗う。特に、「生肉を焼くためのトングや箸」と「焼いた後に使用するトングや箸」は使い分けるようにしてください。  
ふきん・スポンジなども、十分に煮沸や消毒をし、よく乾燥させておく。

石鹸を使用  
した十分な  
手洗い

帰宅後、調理前・中、飲食前、トイレ後、動物とのふれあい後等こまめに手洗いを行う。物の消毒は、アルコールや次亜塩素酸ナトリウムで行いましょう。

## その他

重症化させないためにも、症状が現れたら早めに医療機関を受診しましょう。

参考：厚生労働省ホームページ「腸管出血性大腸菌Q&A」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177609.html>